

## ガラス固化体等に係る防護措置適用の考え方について

総合資源エネルギー調査会 原子力保安部会 原子力防災小委員会 危機管理 WG において、専門家の意見を聴しつつ、我が国におけるガラス固化体等に係る放射線影響の度合い及び防護区分について検討した結果は、以下の通りである。

1. ガラス固化体等が有する堅固な形態、ホットセル等の安全上の観点から堅牢に設計された構造物内における取扱い等を総合的に勘案し、ガラス固化体等に対する妨害破壊行為が行われたとしても、公衆に与える放射線影響(身体的影響)の度合いは小さいため、防護要件のレベルは低いものと考えられる。
2. 我が国では、一般的に防護要件が相対的に低い防護区分Ⅲの核燃料物質を取り扱う事業者には、国が法令で示す網羅的な防護措置(防護措置要件方式)を課すこととしている。このため、ガラス固化体等については、従来と同様に防護要件のレベルが相対的に低い防護区分Ⅲとして取り扱う(防護措置要件方式を採用する)ことが適当と考える。〔添付資料参照〕

なお、DBT の作成等に関する IAEA 指針案における DBT 適用の考え方によれば、ガラス固化体等について防護措置を講ずる際には必ずしも DBT を作成し適用する方式をとる必要はないとしている。

〔了〕

# 核物質防護措置一覧

添付資料

防 護 措 置	原子炉施設、再処理施設			加工施設		
	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
○防護区域の設定	○	○	○	○	○	○
○防護区域を堅固な障壁で区画	○	—	○	○	—	—
○周辺防護区域を設定し、障壁で区画し、照明装置等人の侵入が確認できる装置を設置	○	—	○	—	—	—
○見張人の巡視	○	○	○	○	○	○
○防護区域または周辺防護区域への人の立入						
・常時立入者に証明書を発行	○	○	○	○	○	○
・立入者に証明書を発行	○	○	○	○	○	○
・立入者に常時立入者を同行させ監視	○	—	○	○	—	—
○防護区域または周辺防護区域への業務車両以外の車両立入禁止	○	○	○	○	○	○
○防護区域または周辺防護区域の出入口						
・妨害破壊行為用物品の持ち込み及び特定核燃料物質の不法持ち出し点検	○	—	○	○	—	—
・金属探知装置、特定核燃料物質検知装置を利用した点検	○	—	○	—	—	—
・見張人の常時監視または出入口施錠（及び侵入検知装置の設置）	○	○	○	○	○	○
○特定核燃料物質の管理						
・防護区域内に置く	○	○	○	○	○	○
・常時監視または堅固な構造の施設内に貯蔵し、その施設について出入口を施錠し侵入検知装置を設置し、認めた者以外の立入を禁止し、見張人に巡視させる	○	—	○	○	—	—
・貯蔵施設へ認めた者以外の立入禁止	—	○	—	—	○	○
・見張人の貯蔵施設周辺巡視	—	○	—	—	○	○
・異常の報告	○	○	○	○	○	○
・一日の作業終了後に点検報告	○	○	○	○	○	○
○監視装置						
・確実な検知、速やかな表示	○	○	○	○	○	○
・非常用電源を備える	○	—	○	○	—	—
・表示は見張人が常時監視できる位置に設置	○	—	○	○	—	—
○出入口施錠						
・鍵の複製が困難なもの	○	—	○	○	—	—
・不審時には速やかに取り替え	○	—	○	○	—	—
・当該者以外の取り扱い禁止	○	—	○	○	—	—
○防護装置の点検保守	○	○	○	○	○	○
○防護のための連絡						
・見張人の詰所の設置	○	—	○	○	—	—
・防護区域または周辺防護区域内に連絡設備を設置し、見張人から詰所へ迅速かつ確実な連絡	○	—	○	○	—	—
・詰所から関係機関へ迅速かつ確実な2重以上の連絡	○	—	○	○	—	—
・詰所から関係機関へ迅速かつ確実な連絡	—	○	—	—	○	○
○防護のための教育訓練	○	○	○	○	○	○
○防護体制の整備	○	○	○	○	○	○
○緊急時対応計画の作成	○	○	○	○	○	○
○防護のための詳細な事項の情報管理、核物質防護秘密の指定等	○	○	○	○	○	○
○妨害破壊行為等の脅威への対応 ※	○	—	○	—	—	—
○防護措置の定期的に評価及び改善	○	○	○	○	○	○

※経済産業省所管の原子力施設に係る防護措置として表記